



何これ?フィギュア?



「頼春水の印章」
(頼山陽史跡資料館蔵・杉ノ木資料)



文人にとって大事な
アイテムなんですって

詳しくは次のページへ!

令和2年度 秋の展示
芸備の文人たち
知の世界に遊ぶ

令和2年9月18日|金| ▶ 11月8日|日|

江戸時代の中頃(18世紀頃～)になると、日本で「文人」と言われる人々が多く登場するようになります。彼らは儒学や歴史などの高度な知識・教養を背景に、詩・書・画を作るなど様々な活動を行い、文化の担い手として重要な位置を占めていました。

今回の展示では、広島・福山など芸備地方の文人を中心に、彼らの活動や交流を紹介します。

この展示は令和2年春の展示を延期して開催するものです。ニュース第122号にも展示内容の紹介をしていますので、是非御覧ください。

秋の展示コラム

文人の大事なアイテム — 印章の世界 —



前のページにある写真は、全て印章、つまりハンコ、スタンプです。

印章は文人たちにとってとても大事なものでした。なぜなら、書や絵を作る文人にとって印を押すことは、自分の作品の証明でもあるからです。つまり、作品に印があるということは「これは確かに私〇〇が作ったものです」と作者が言っているのと同じことなのです。

今回の展示では、書や絵の作品が多く登場しますが、どの作品にも必ずと言っていいほど印が押されています。文字や絵だけでなく、こうしたさりげない所にも文人は気を遣っていたのです。



写真1 頼春水編「三景図巻」(部分) (個人蔵)

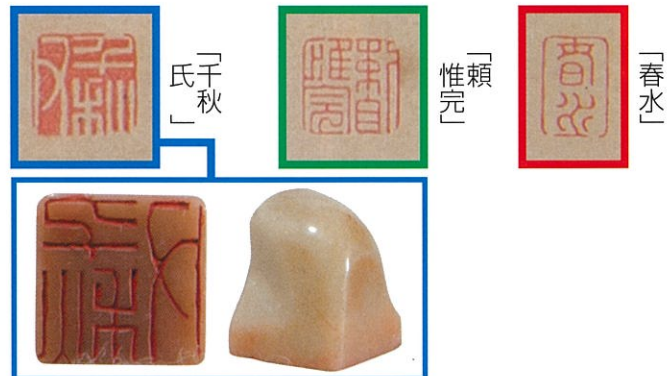


写真2 頼春水の印章(頼山陽史跡資料館蔵・杉ノ木資料)

写真1の「三景図巻」は、広島藩儒であり、書の大家としても知られた頼春水が編集したもので、「嚴島」の字は春水自身が書いたものです。ここにはいくつか印が押されていますが、例えば写真1の青部分にある押印と、写真2の春水所蔵の印の面は一致しています。

令和2年度 秋の展示 芸備の文人たち — 知の世界に遊ぶ —

令和2年9月18日|金| ▶ 11月8日|日|

開催記念講演会

第1回

演題／頼杏坪と広島藩の編纂事業
講師／渡部 史之(頼山陽史跡資料館学芸員)
日時／10月3日(土) 14:00～15:30

第2回

演題／文人の魅力とは?—茶山・春水からたどる—
講師／伊藤 大輔(当館学芸員)
日時／10月17日(土) 14:00～15:30

展示解説会

10月4日(日)
10月18日(日)
いずれも13:30～14:30
※入館料が必要です。

主催／ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)
会場／広島県立歴史博物館 企画展示室
休館日／月曜日(9月21日を除く)、9月23日(水)
入館料／一般290円(220円)、大学生210円(160円)、
高校生まで無料 ※ () 内は20名以上の団体

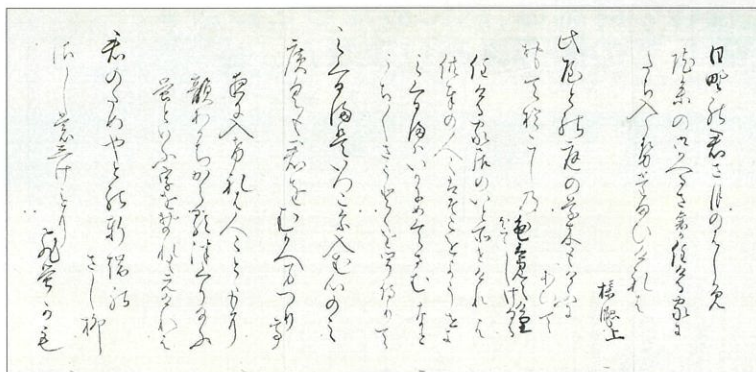
後援／福山市、福山市教育委員会、竹原市教育委員会、
福山商工会議所、広島経済同友会福山支部、
一般社団法人福山青年会議所、一般社団法人広島県観光連盟、
NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
テレビ新広島、広島エフエム放送、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送

頼山陽史跡資料館

企画展「女たちよ! 頼山陽をめぐる女性群像」

令和2年9月17日(木)~11月23日(月・祝)

「頼山陽をめぐる女性群像」と聞くと、備後尾道の平田玉蘊ひら たぎよおんや美濃大垣の江馬細香え まさいこうという、頼山陽が結婚を意識した女性たちのことを想像されるのではないかと思います。当初、本展は玉蘊や細香の作品を中心に構成する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて準備の中断を余儀なくされました。そこで今回は、広島頼家に伝来した、頼山陽の母梅颯ばいしや妹三穂みほ、妻梨影りえに関する資料を紹介することとし、頼山陽を愛し、支えた母・妹・妻たちの実像に迫っていきます。ここでは、展示資料の中から山陽の母梅颯の詠草えいそうを紹介します。



和歌詠草「日野の君 さ月のはじめ」 頼梅颯書 当館蔵(杉ノ木資料)

住ける家居のいと所せけれ(狭)
 供奉の人々はそこをようせよ
 みくるまは いかにくくらさむなど(巡らさむ等)
(騷動)
 うちくさうとうを聞侍りて
(何処)
 みくるまは いつこに入む 心のみ
 廣くも君を むかへまつりて

文政12年(1829)3月、梅颯は帰省した山陽とともに上京します。この時、梅颯は数えで70歳でしたが、精力的に行動し、多くの文化人と交遊しています。その一人に、公卿の日野資愛くぎよあきがいます。資愛は、頼山陽の生涯と人となりをもとめた「山陽先生行状」(江木鰐水撰)にも登場する人物です。

同年5月8日、資愛が山陽の住む水西荘すいせいそうを訪ねてきます。水西荘では詩会が開かれ、梅颯も参加しています。この時、梅颯が詠んだ歌をしたためた詠草が伝わっており、資愛来訪の様子を書きとめています。資愛たちは御車(牛車)で立ち寄ったものの、水西荘周辺は路が狭く、御車を乗り入れるにも一苦勞であったことを伝え、その騷動の様子を歌に詠んでいます。京都ならではの情景といえますが、梅颯の歌心を刺激したようです。

この梅颯の詠草「日野の君 さ月のはじめ」は初公開資料です。この他にも多数の初公開資料を出陳しますので、皆様是非会場で御覧ください。

頼山陽史跡資料館

- 会場 / 広島市中区袋町5-15 TEL.082-298-5051
- 時間 / 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日(ただし9月21日〔月・祝〕・22日〔火・祝〕は開館)
- 入館料 / 一般300円(240円)、高校生・大学生220円(180円)、小中学生150円(120円)
※ ()は団体20名以上の料金
- 関連行事 / ● 展示解説会 日 時: 9月26日(土)、10月10日(土)・31日(土)、11月14日(土)
 解説: 当館職員 いずれも13:30~



RAISANYOU

10月以降の講演会等の予定について

講演会・イベントを、10月から開催します。
開催に当たり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、次のような措置をとりますので、御協力ください。

- 1 聴講者を120人に制限します。(講堂100人・研修室〔映像での聴講〕20人)
- 2 聴講者数の制限に伴い、講堂・研修室とも「整理券」を配付し、座席を指定します。
整理券の配付は、講演会当日の13時、当館玄関前で行います。
- 3 講演会終了後の質疑応答等はありません。
- 4 講演会開催当日でも、急きょ中止する場合があります。あらかじめ御了承ください。
- 5 入館の際は、検温・連絡先の記入を行っていただくほか、マスクの着用をお願いします。
- 6 その他についても、館に掲示している「御来館上のお願い」を遵守していただくほか、職員
の指示に従ってください。

「ミュージアムカレンダー」に記載の予定が一部変更になっていますので、講演会・イベントの内容・日程等の詳細は、別にお知らせします。
なお、今年度は「博物館大学」としての開催はありません。

今後の近世文化展示室(特集展示)・常設展示室(ミニ展示)のお知らせ

近世文化展示室(特集展示)

第13回
茶山が歩いた道を行く
10/8(木)~11/29(日)

第14回
長寿を寿ぐ
12/3(木)~1/31(日)

第15回
菅茶山と白河藩
2/6(土)~3/28(日)



常設展示室(ミニ展示)

齊藤芳克コレクションの和時計
9/25(金)~11/23(月・祝)

緋ボランティアの成果
緋 KASURI(2)-植物文様-
11/25(水)~1/24(日)

石田米孝コレクション
東アジアの古瓦
1/26(火)~3/25(木)



広島県立歴史博物館友の会からのお知らせ

◇令和2年度 友の会の役員・事務局員です。よろしくをお願いします。

役職	氏名	備考
顧問	植田 千佳穂	
会長	神谷 和孝	
副会長	高橋 伸	
理事	小林 暢善	
理事	西別府 元日	
理事	古瀬 清秀	

役職	氏名	備考
理事	村上 範 慥	
理事	篠原 芳 秀	
常務理事	地頭所 久美子	広島県立歴史博物館館長
監査	尾多賀 晴 悟	
監査	桑田 直 美	

事務局

事務局長	伊藤 雅 哉	広島県立歴史博物館総務課長
事務局員	木村 信 幸	広島県立歴史博物館学芸課長兼草戸千軒町遺跡研究所長 ほか広島県立歴史博物館職員16名

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第124号

編集・発行 令和2年8月21日



ふくやま
草戸千軒ミュージアム
(広島県立歴史博物館)
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067

広島県福山市西町二丁目4-1

TEL(084)931-2513 FAX(084)931-2514

URL: <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>

e-mailアドレス: rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp

